

令和2年度「男女共同参画に関する市民意識調査」調査結果概要

- **調査目的** 男女共同参画に関する市民の意識、実態を把握し、今後の男女共同参画社会推進に向けた施策を充実させるとともに、令和3年度に策定予定の第3次松江市男女共同参画計画の基礎資料とする。
- **調査対象** 市内在住の満18歳以上の男女2,000人（無作為抽出）
- **調査期間** 令和2年8月28日（金）～令和2年9月25日（金）
- **調査方法** 郵送配布、郵送回収
- **回収結果** 回収数910件（総回収率：45.5%） 有効回答数907件（有効回答率：45.4%）

➤ 年代別回答者割合

年代	10歳代 (18、19歳)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	無回答
割合	1.5%	6.4%	9.6%	13.6%	18.6%	20.8%	17.8%	11.0%	0.7%

➤ 調査概要

- 1 男女の地位の平等感について (p1)
- 2 性別役割分担意識について (p3)
- 3 女性の社会参画について (p5)
- 4 女性と仕事について (p6)
- 5 仕事、生活、地域・個人の生活について (p8)
- 6 家庭の中での役割分担について (p9)
- 7 今後男性が家事・子育て・介護・地域活動に参加していくために必要なことについて (p10)
- 8 男女の人権について (p11)
- 9 DV等に関する相談窓口の認知度について (p13)
- 10 男女共同参画に関する用語の認知度について (p14)
- 11 松江市への要望について (p15)

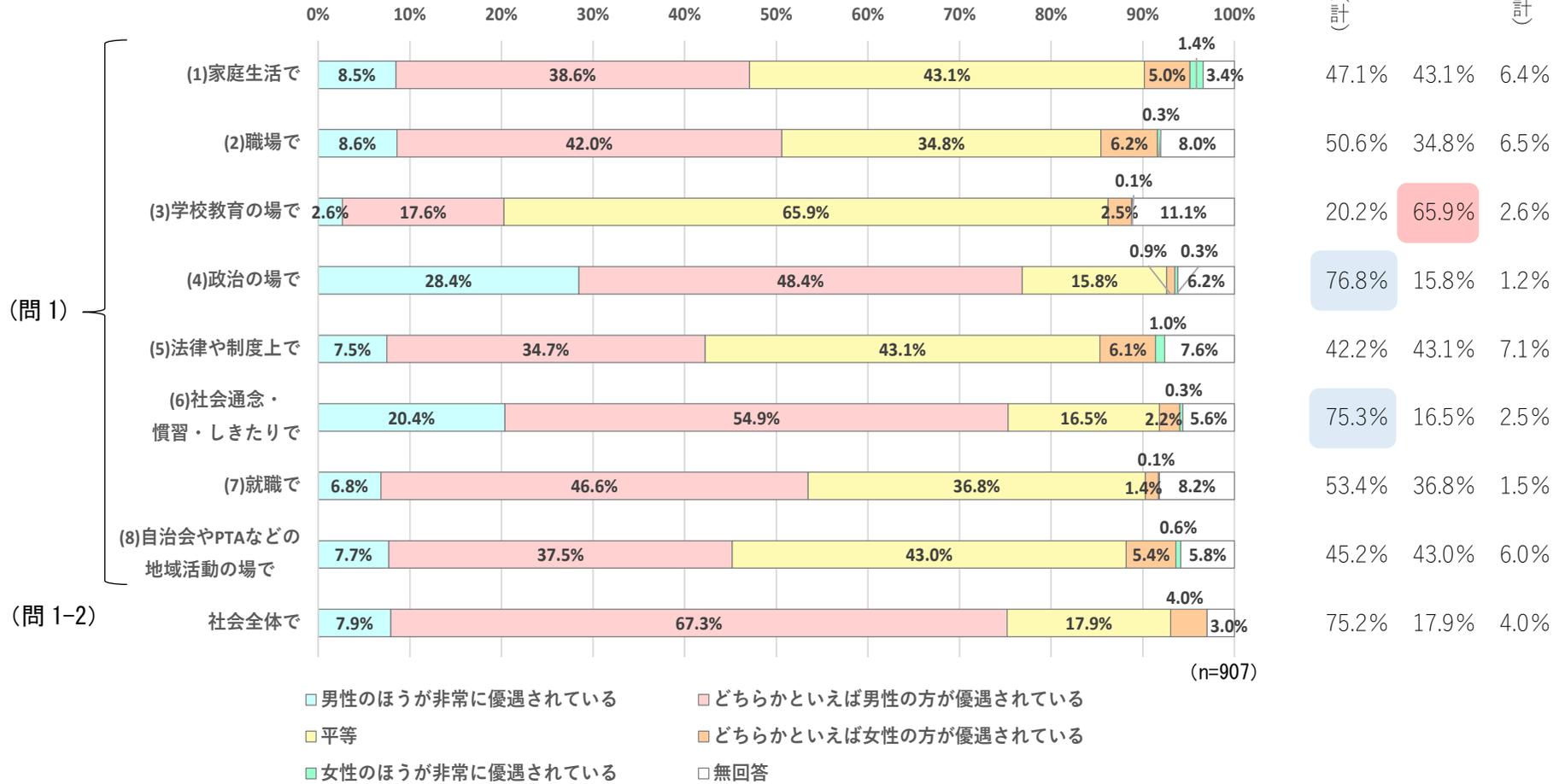
「男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書」本編をご覧になりたい方は、下記までお問い合わせ願います。

〒690-0061 松江市白潟本町43番地 松江市市民部男女共同参画課

電話 0852-32-1196 FAX0852-32-1191 e-mail danjosankaku@city.matsue.lg.jp

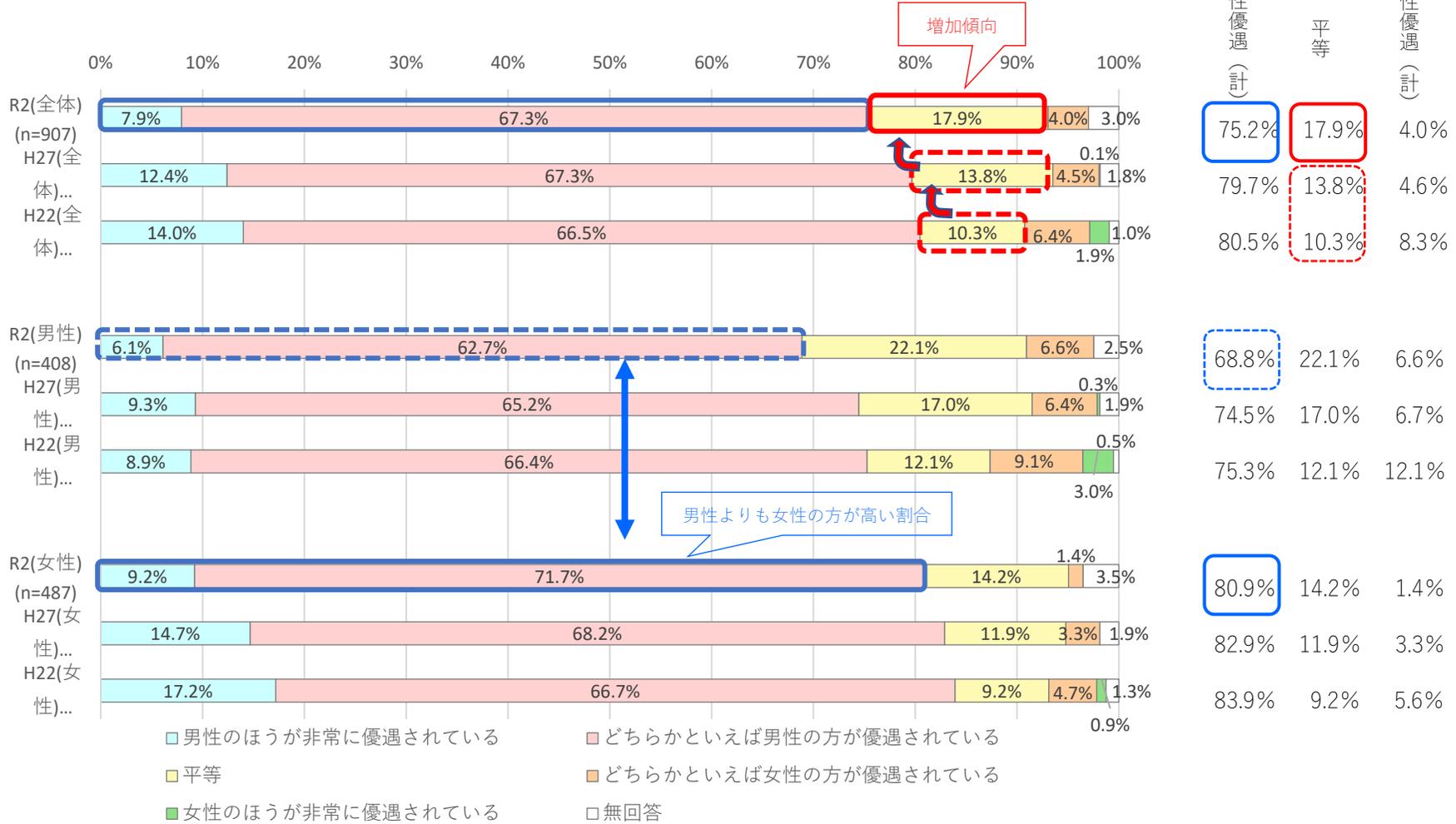
1 男女の地位の平等感について

問1 各分野における男女の地位の平等感



「平等」とする回答が最も高い分野は、「(3)学校教育の場で」で65.9%となっている。また、「男性優遇(計)」が最も高いのは「(4)政治の場で」(76.8%)、次いで「(6)社会通念・慣習・しきたりで」(75.3%)となっている。「(3)学校教育の場で」と「(5)法律や制度上で」の2分野以外は、「男性優遇(計)」が「平等」よりも高くなっている。

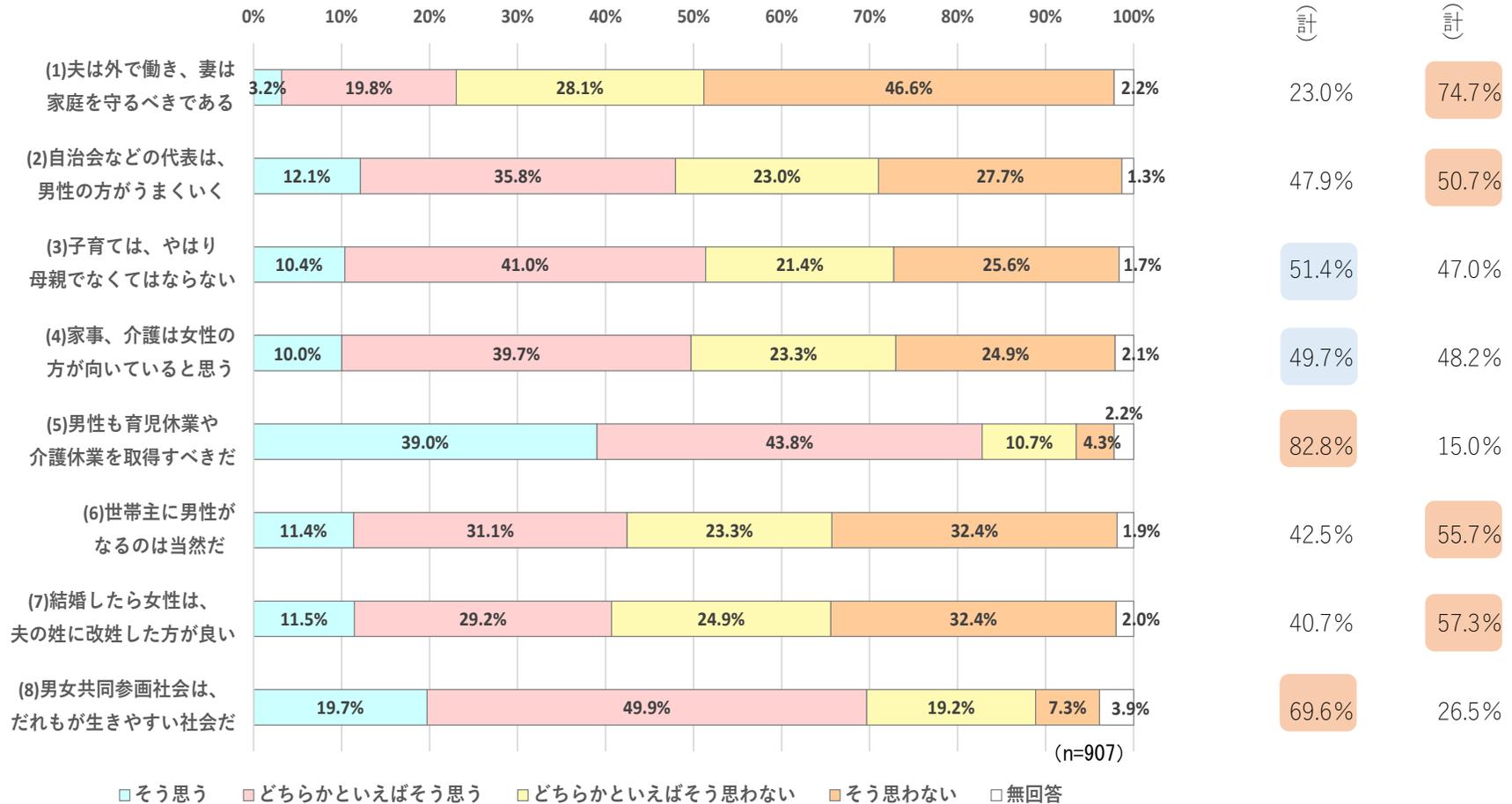
問 1-2 社会全体で見た場合の男女の地位の平等感



「平等」と回答する割合は 17.9%で、H22 松江市調査(10.3%)、H27 松江市調査(13.8%)と比較すると増加していることがわかる。一方、「男性優遇(計)」とする回答は 75.2%で、過去の調査よりは減少しているが、依然として 7 割を超えている。男女で比較すると、女性が「男性優遇(計)」と回答した割合は 80.9%で、男性(68.8%)を 12.1 ポイント上回っている。

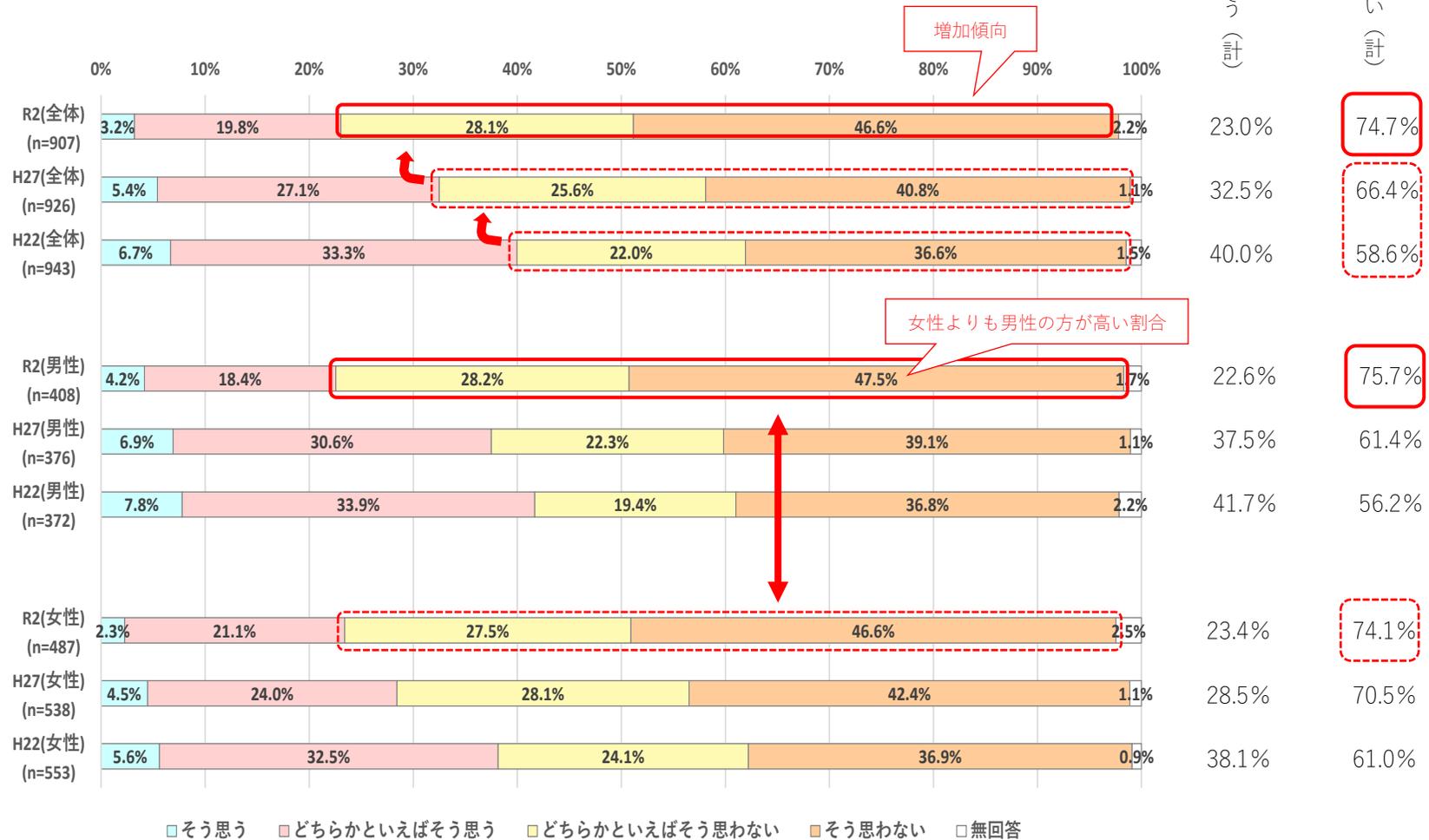
2 性別役割分担意識について

問2 性別役割分担等に関する意識



「(1)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」、「(2)自治会などの代表は、男性の方がうまくいく」、「(6)世帯主に男性がなるのは当然だ」、「(7)結婚したら女性は、夫の姓に改姓した方が良い」については、否定的な意見の方が高く、「(3)子育ては、やはり母親でなくてはならない」、「(4)家事、介護は女性の方が向いていると思う」については、肯定的な意見の方が高かった。

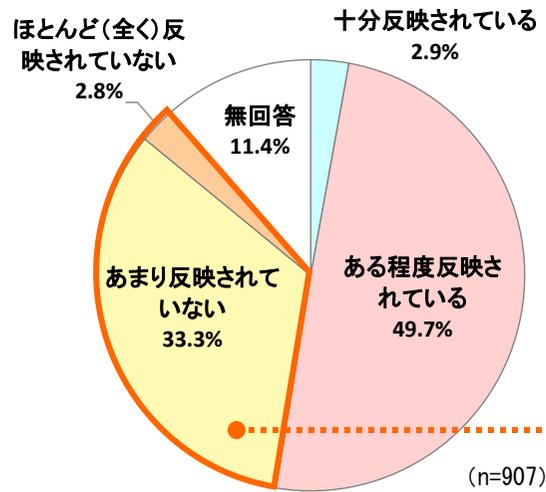
(1)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである



「そう思わない(計)」とする回答は 74.7%で、H22 松江市調査(58.6%)、H27 松江市調査(66.4%)と比較すると増加していることがわかる。H22 調査(男性：56.2%、女性：61.0%)、H27 調査(男性：61.4%、女性：70.5%)では女性の回答割合が高かったが、本調査(男性：75.7%、女性：74.1%)では、男性が女性を上回っていることがわかる。

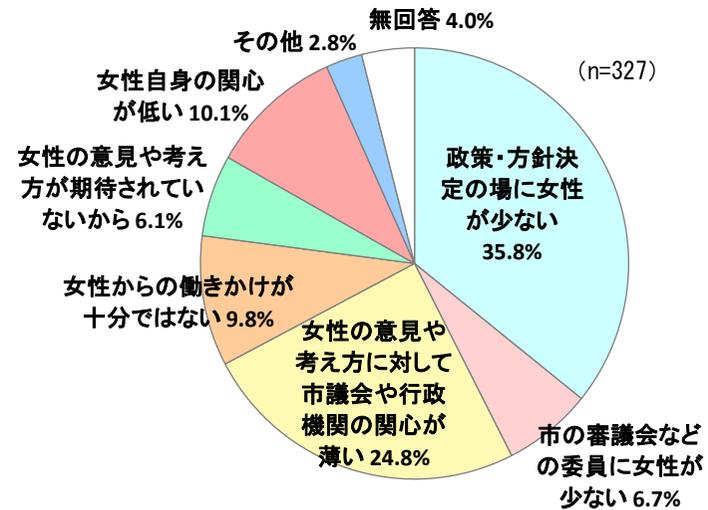
3 女性の社会参画について

問3 市の政策について女性の意見の反映度



問3-2 女性の意見が反映されていない理由

反映されていない理由

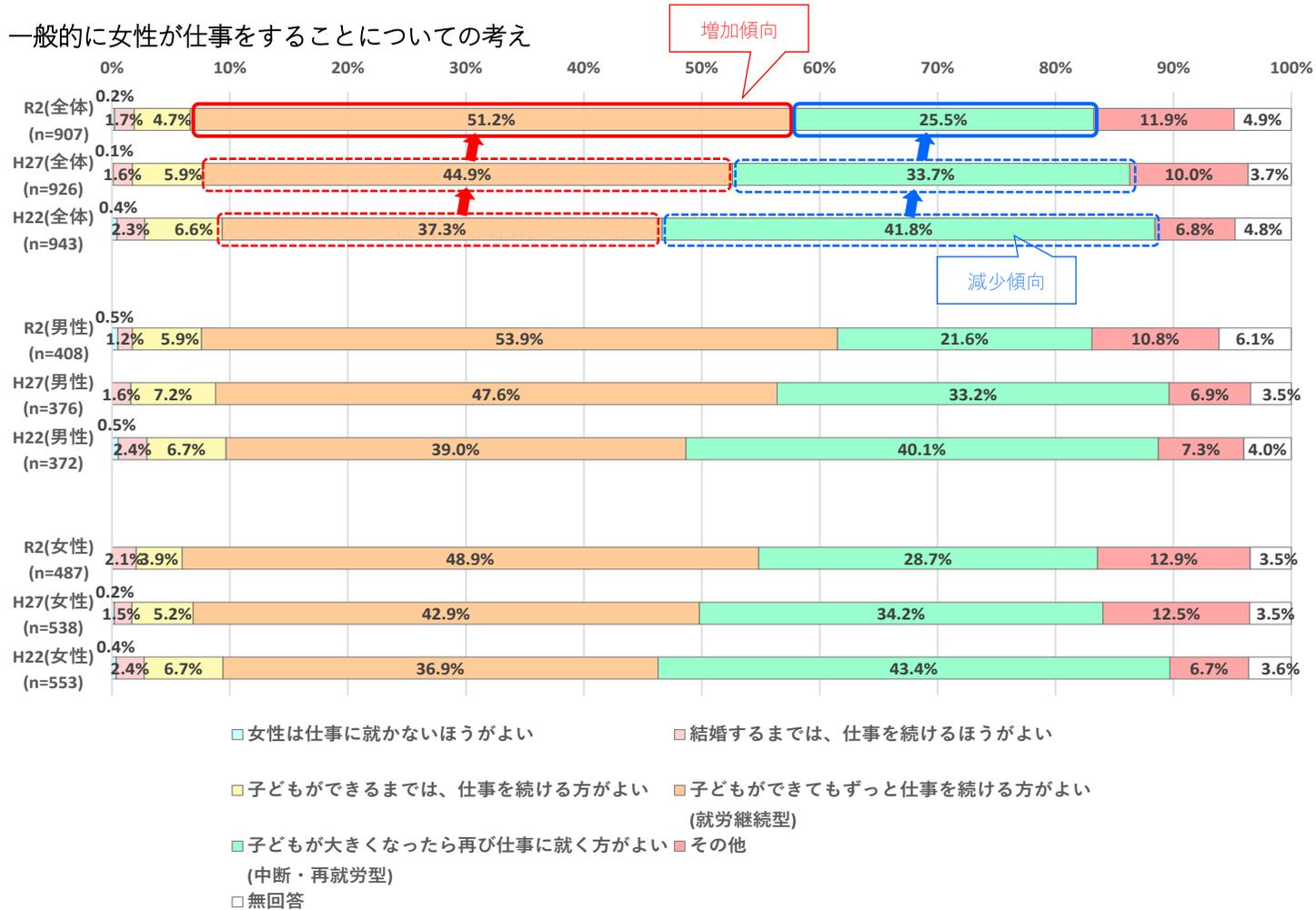


【問3】「反映されている(計)」とする回答は52.6%と、半数以上の方は女性の意見が反映されていると感じている。一方、「反映されていない(計)」(36.1%)と女性の意見が反映されていないと考えている人も3割以上存在することがわかる。

【問3-2】「政策・方針決定の場に女性が少ない」(35.8%)が最も高く、次いで「女性の意見や考え方に対して市議会や行政機関の関心が薄い」(24.8%)となっている。

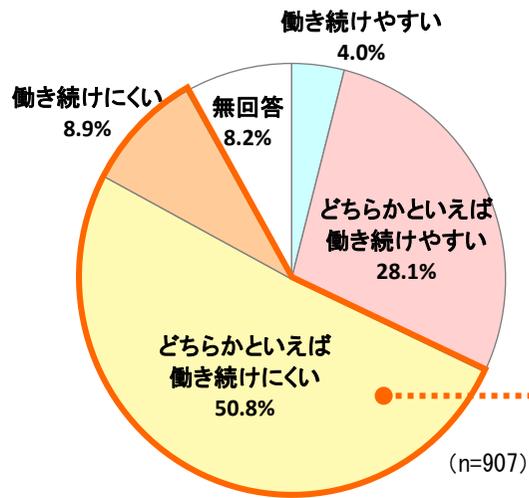
4 女性と仕事について

問4 一般的に女性が仕事をするについての考え



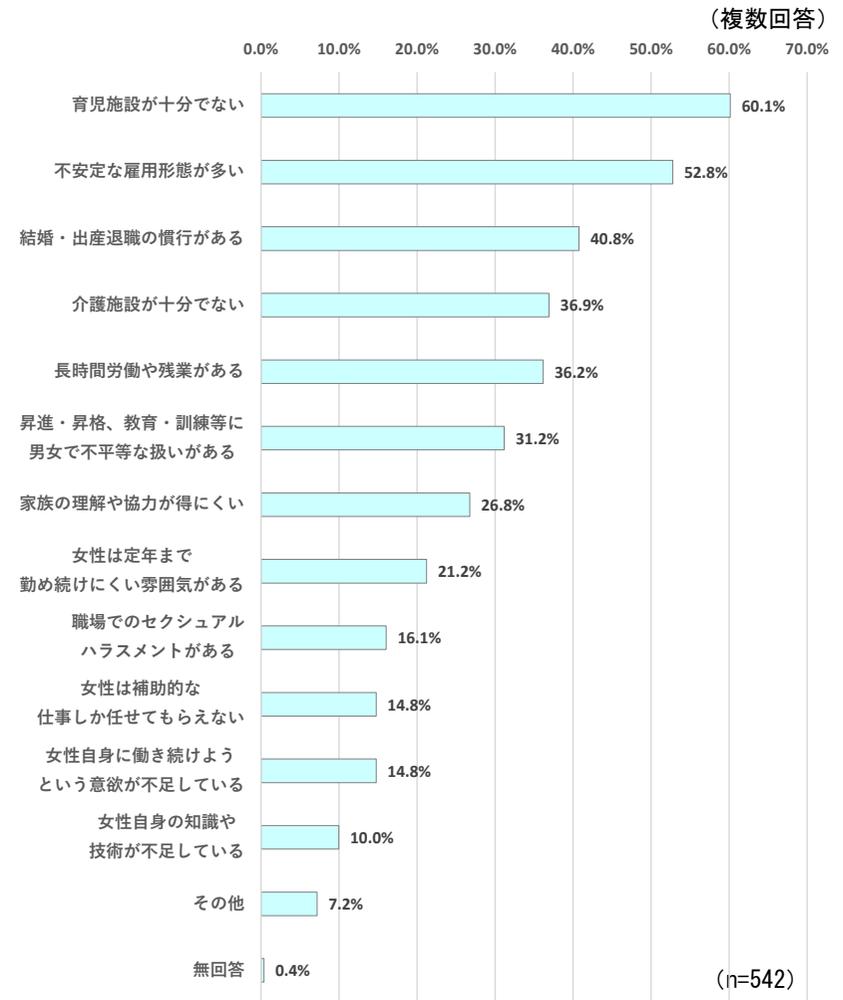
「子どもができてみずっと仕事を続けるほうがよい(就労継続型)」は51.2%で半数以上を占め、過去の調査と比較すると増加傾向である。また、「子どもが大きくなったら再び仕事に就くほうがよい(中断・再就労型)」(25.5%)は過去の調査と比較すると、減少傾向である。

問5 一般的に女性が働き続ける状況について



障害となっていること

問5-2 女性が働き続けていく上で障害となっていること (複数回答)



【問5】 「働き続けにくい(計)」とする回答は59.7%と、約6割の人が働き続けにくい状況であると感じている。

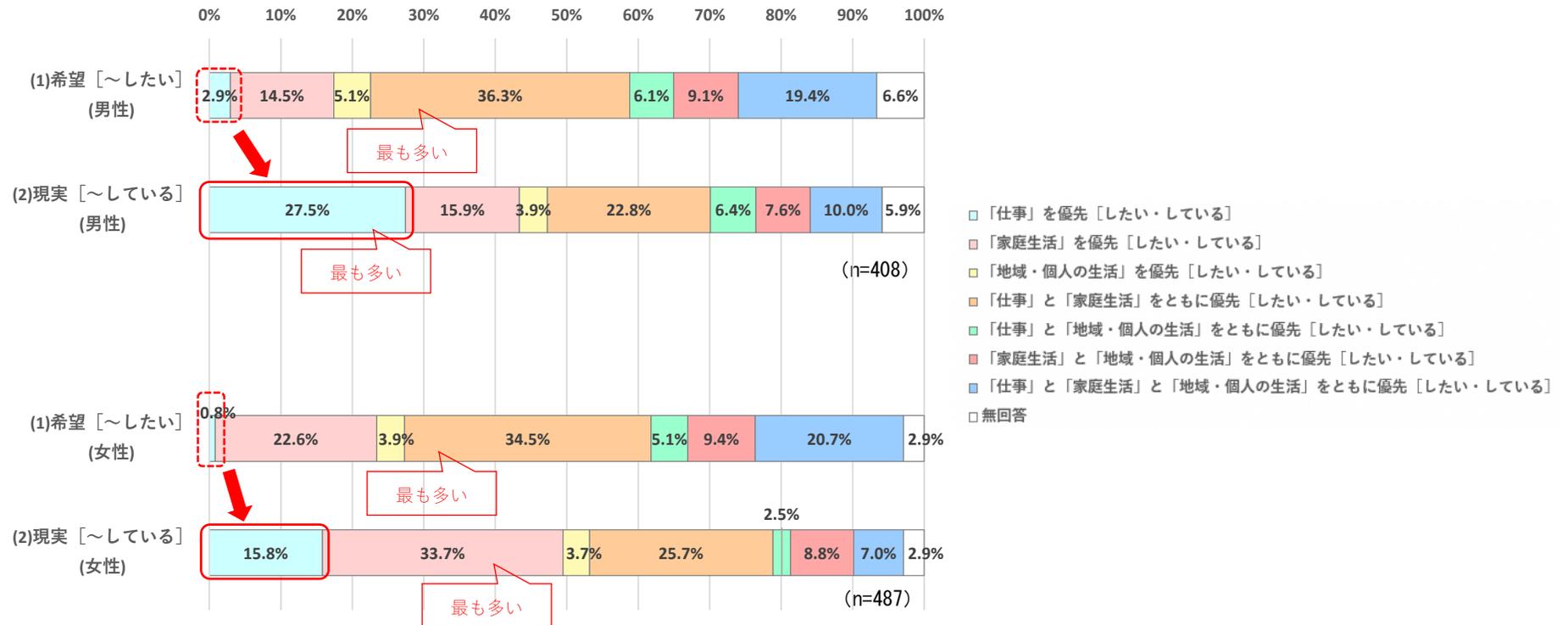
【問5-2】 「育児施設が十分でない」(60.1%)が最も高く、次いで「不安定な雇用形態が多い」(52.8%)、「結婚・出産退職の慣行がある」(40.8%)となっている。

5 仕事、生活、地域・個人の生活について

問 6(1) 「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」のバランス (希望)

問 6(2) 「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」のバランス (現実)

希望と現実の比較(男女別)

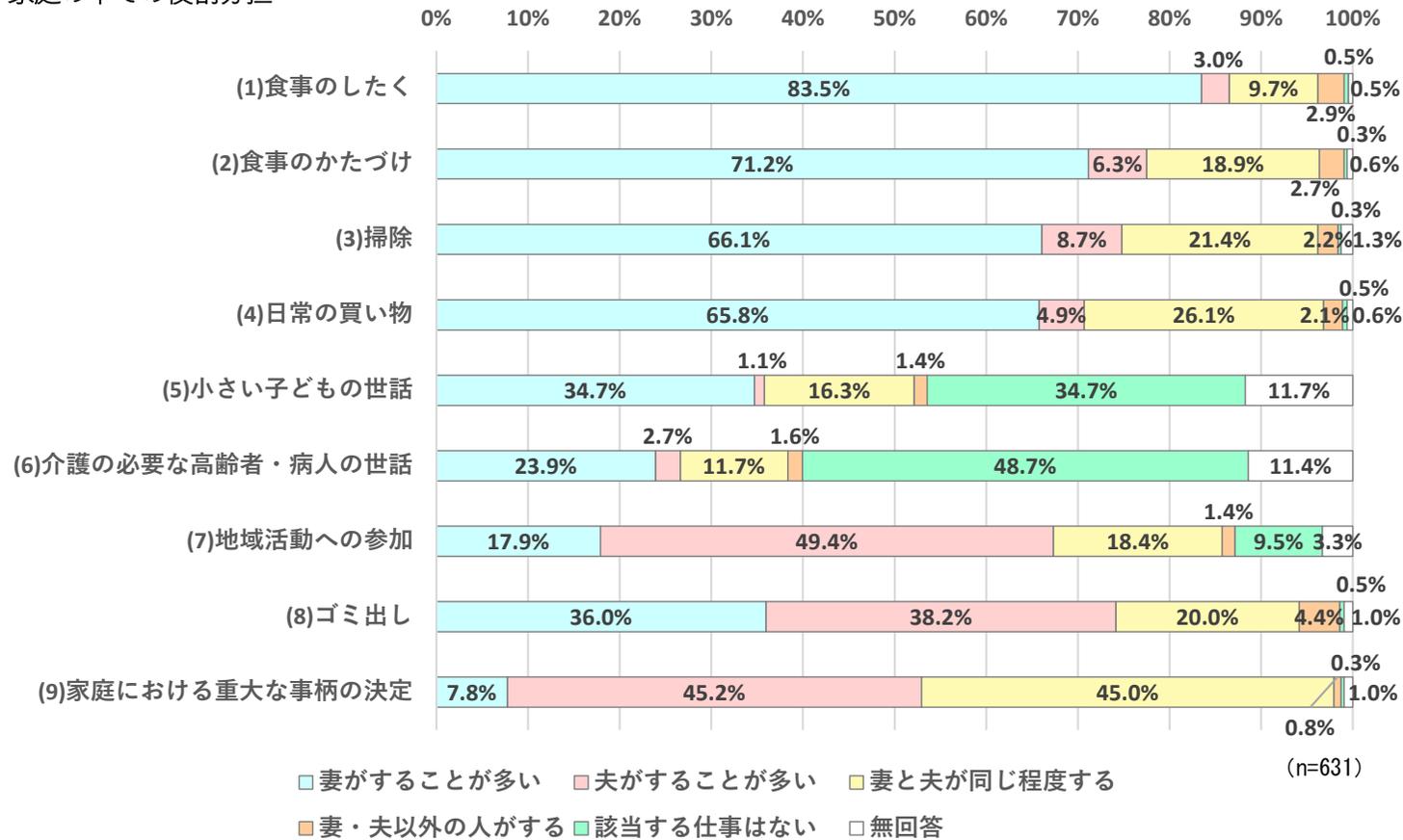


男性は、「仕事と家庭生活をともに優先したい(希望)」が36.3%と最も多いが、現実には「仕事を優先している(現実)」が27.5%と最も多い。一方、女性は「仕事と家庭生活をともに優先したい(希望)」が34.5%と最も多いが、現実には「家庭生活を優先している(現実)」が33.7%と最も多い。

また、「仕事を優先したい(希望)」が男女ともに最も低い割合(男性：2.9%、女性：0.8%)となっているが、現実には「仕事を優先している(現実)」傾向がある。(男性：27.5%、女性：15.8%)

6 家庭の中での役割分担について

問7 家庭の中での役割分担

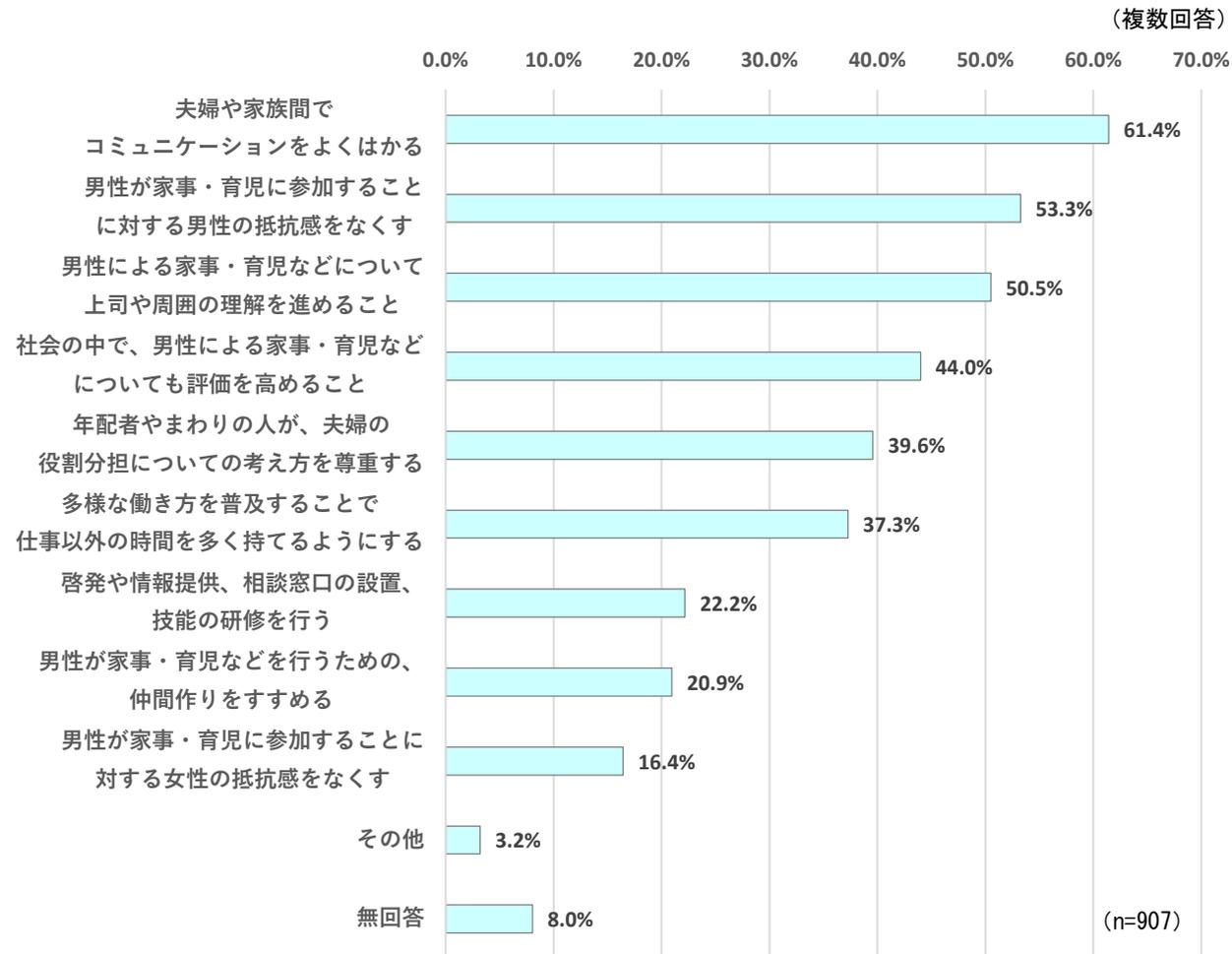


「妻がすることが多い」とする回答が最も高いものは、「(1)食事のしたく」(83.5%)となっている。次いで「(2)食事のかたづけ」(71.2%)、「(3)掃除」(66.1%)、「(4)日常の買い物」(65.8%)と、家事の項目について妻が担当している家庭が多いことがわかる。

「夫がすることが多い」とする回答が最も高いものは、「(7)地域活動への参加」(49.4%)、次いで「(9)家庭における重大な事柄の決定」(45.2%)、「(8)ゴミ出し」(38.2%)となっている。

7 今後男性が家事・子育て・介護・地域活動に参加していくために必要なことについて

問8 今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動に参加していくために必要なこと（複数回答）



「夫婦や家族間でコミュニケーションをよくはかる」(61.4%)が最も高い回答となっている。次いで、「男性が家事・育児に参加することに対する男性の抵抗感をなくす」(53.3%)、「男性による家事・育児などについて上司や周囲の理解を進めること」(50.5%)となっている。

8 男女の人権について

問9 ドメスティック・バイオレンス (DV) について

<全体>



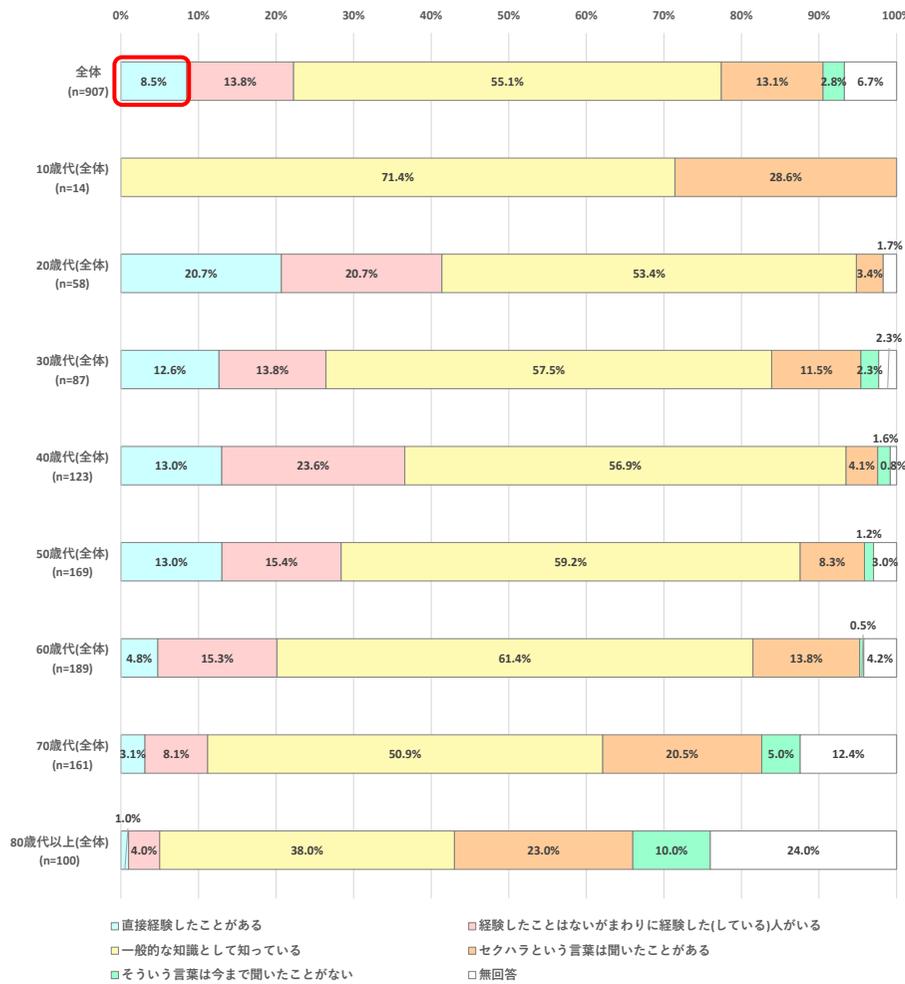
<男女別>



「直接経験したことがある」は6.7%となり、男性(4.2%)よりも女性(9.0%)の回答の割合が高い。

問10 セクシュアル・ハラスメントについて

<全体>



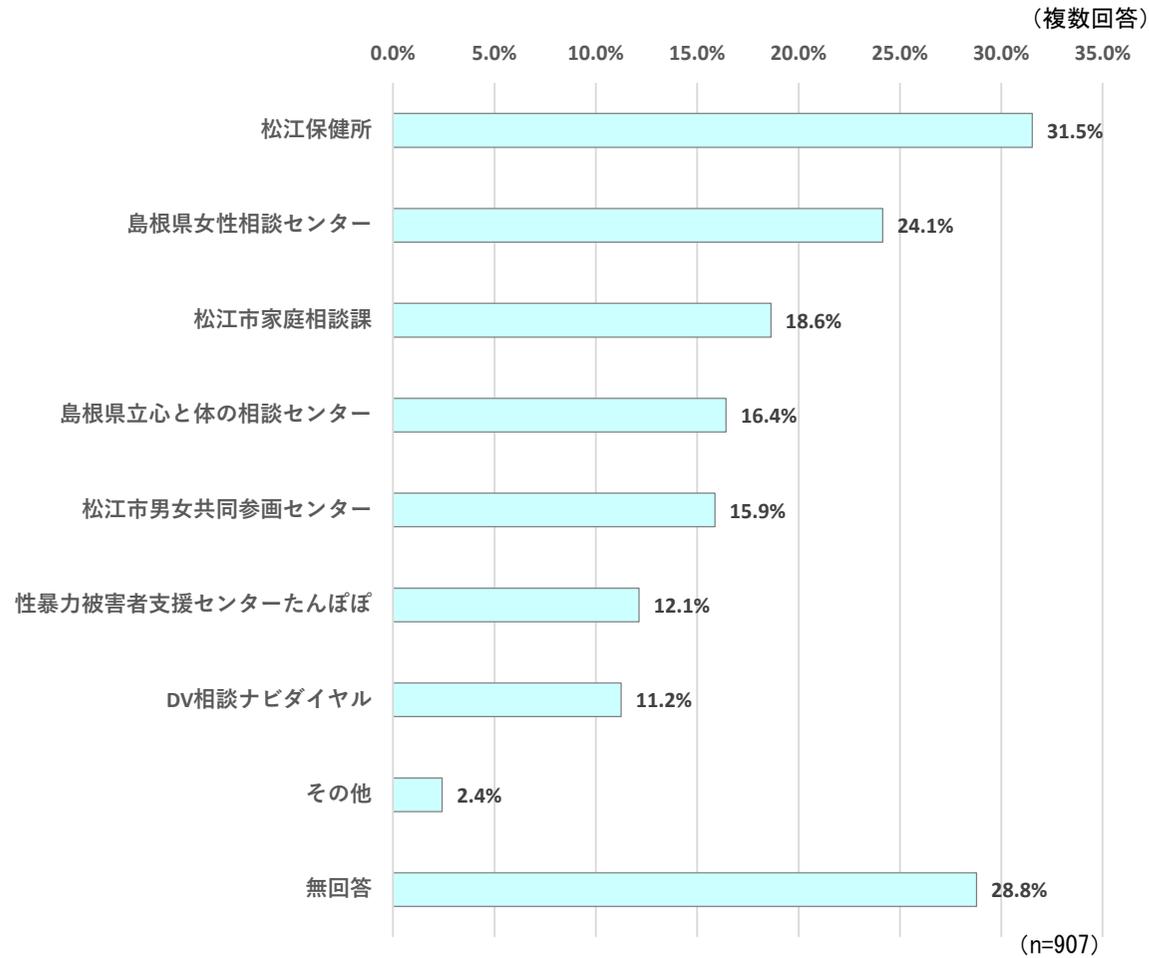
<男女別>



「直接経験したことがある」は8.5%となり、男性(3.2%)よりも女性(12.9%)の回答の割合が高い。特に、20歳代女性の回答割合(32.1%)は3割以上を占めている。

9 DV等に関する相談窓口の認知度について

問11 女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口の認知度（複数回答）

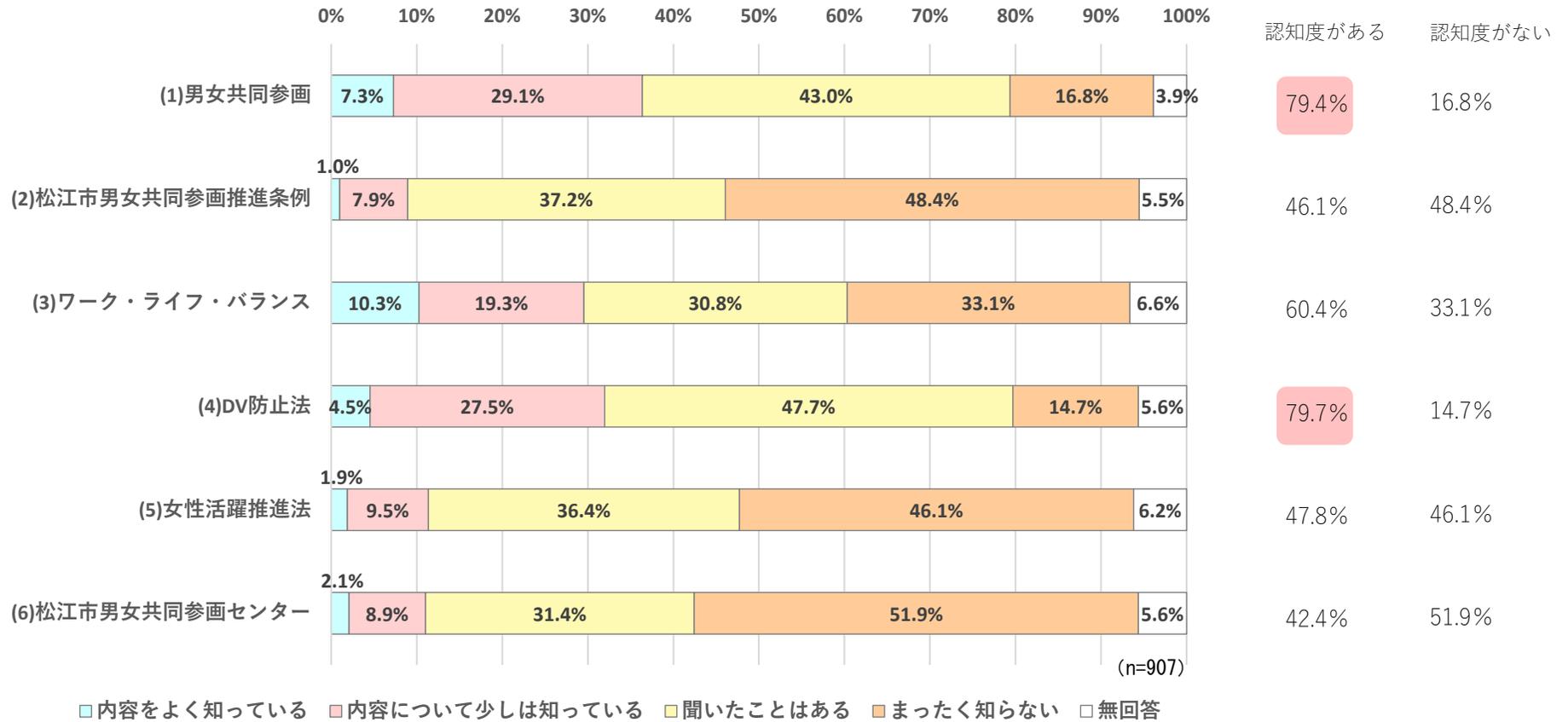


「松江保健所」(31.5%)が最も高く、次いで「島根県女性相談センター」(24.1%)、「松江市家庭相談課」(18.6%)となっている。

10 男女共同参画に関する用語の認知度について

問 12 男女共同参画に関する用語の認知度

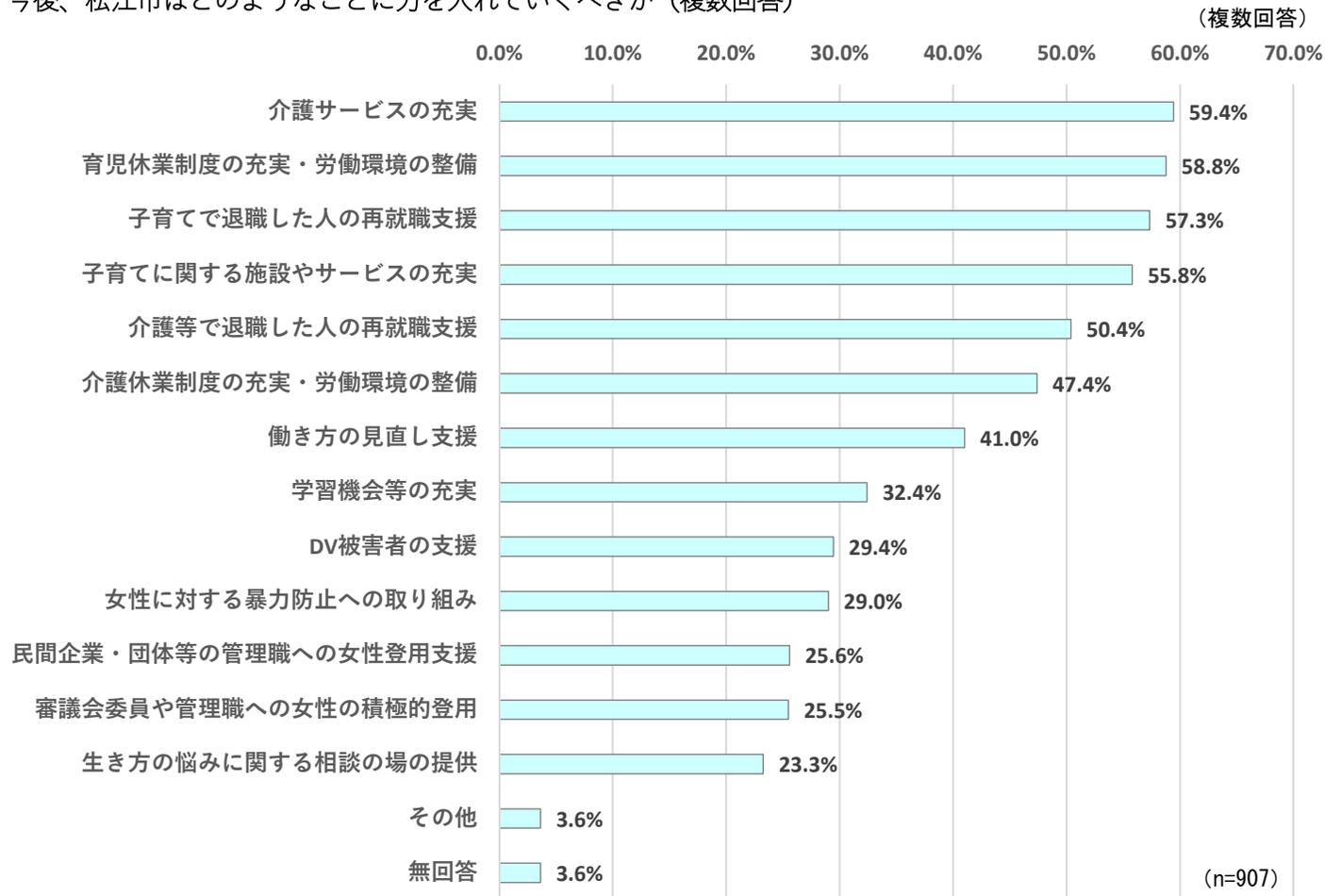
※ 「内容をよく知っている」「内容について少しは知っている」「聞いたことはある」と回答した方を「認知度がある」として分析を行う



認知度が最も高い言葉は、「(4)DV防止法」(計：79.7%)、次いで「(1)男女共同参画」(計：79.4%)、「(3)ワーク・ライフ・バランス」(計：60.4%)となっている。

11 松江市への要望について

問 13 今後、松江市はどのようなことに力を入れていくべきか（複数回答）



「介護サービスの充実」(59.4%)が最も高くなっている。「育児休業制度の充実・労働環境の整備」(58.8%)、「子育てで退職した人の再就職支援」(57.3%)、「子育てに関する施設やサービスの充実」(55.8%)、「介護等で退職した人の再就職支援」(50.4%)といった、介護・育児に関する要望について半数以上の人回答している。